

通信量からみた我が国の通信利用状況

【平成 23 年度】

(概要版)

この資料は、電気通信事業報告規則（昭和 63 年郵政省令第 46 号）の規定に基づき、電気通信事業者から報告のあった平成 23 年度分（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の加入電話、ISDN、IP 電話、携帯電話及びPHSの利用状況について集計・分析を行い、取りまとめたものです。

《目次》

1	はじめに.....	1
2	契約数等の推移.....	2
3	国内通信の推移.....	3
4	国内通信の通信回数.....	4
5	国内通信の通信時間.....	5
6	国内通信の相互通信状況.....	6
7	国際電話の推移.....	7

1 はじめに

(1) 統計の目的

国民生活や社会経済活動に不可欠な電気通信サービスの在り方を検討するためには、その利用動向を客観性、信頼性のあるデータに基づいて把握することが不可欠です。

このような観点から、総務省（当時郵政省）では、昭和 63 年に電気通信事業報告規則（昭和 63 年郵政省令第 46 号）を定め、電気通信事業者から音声サービスに係るトラヒック（通信量）データの報告を求め、電気通信政策の策定等に活用しています。

また、そのデータを国民利用者に公表することにより、電気通信サービスに対する理解を深めることに役立てています。

(2) 報告対象事業者

省令の規定により報告義務の対象となっている電気通信事業者からの報告を取りまとめています。

内訳については、兼業している事業者も含めて以下のとおりです。

固定系関係	13社
移動系関係	14社
I P 電話関係	24社
国際電話関係	11社

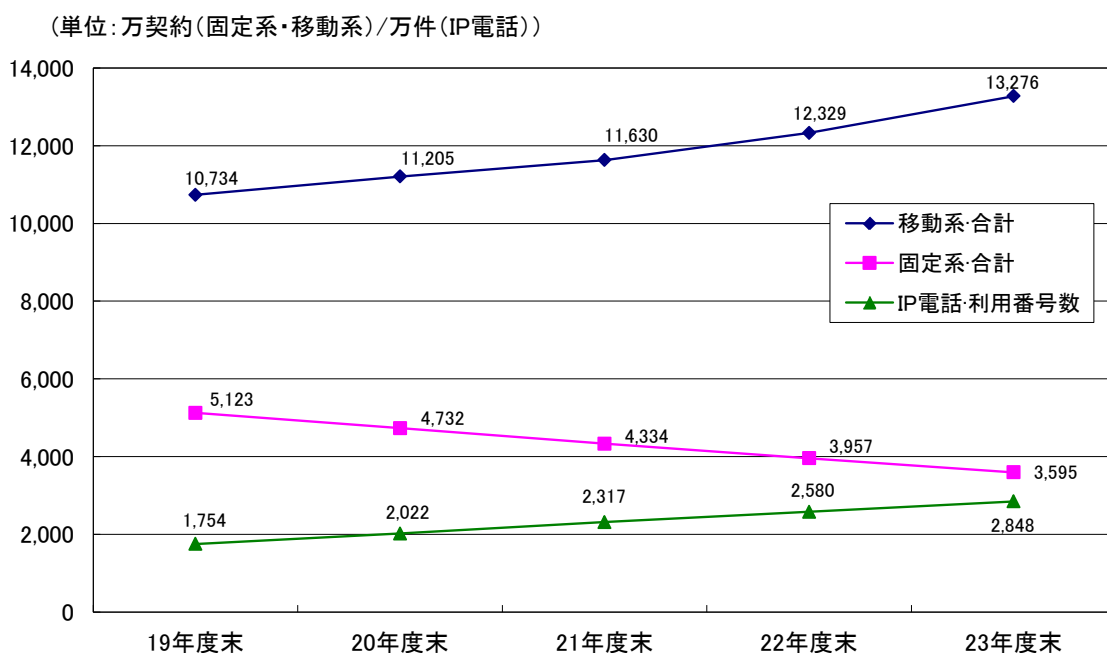
【注意】

数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計や、図表内の数値から計算される増減率と表示されている増減率等については一致しない場合があります。

2 契約数等の推移

- ① 固定系（加入電話・ISDN）全体では、3,595万契約で対前年度比9.1%減少。加入電話は3,132万契約で対前年度比9.3%減少、ISDNは463万契約で対前年度比7.8%減少。
- ② IP電話の利用番号数は、2,848万件で対前年度比10.4%増加。
- ③ 移動系（携帯電話・PHS）全体では、1億3,276万契約で対前年度比7.7%増加。携帯電話は1億2,820万契約で対前年度比7.3%増加、PHSは456万契約で対前年度比21.4%増加。

【契約数等の推移】

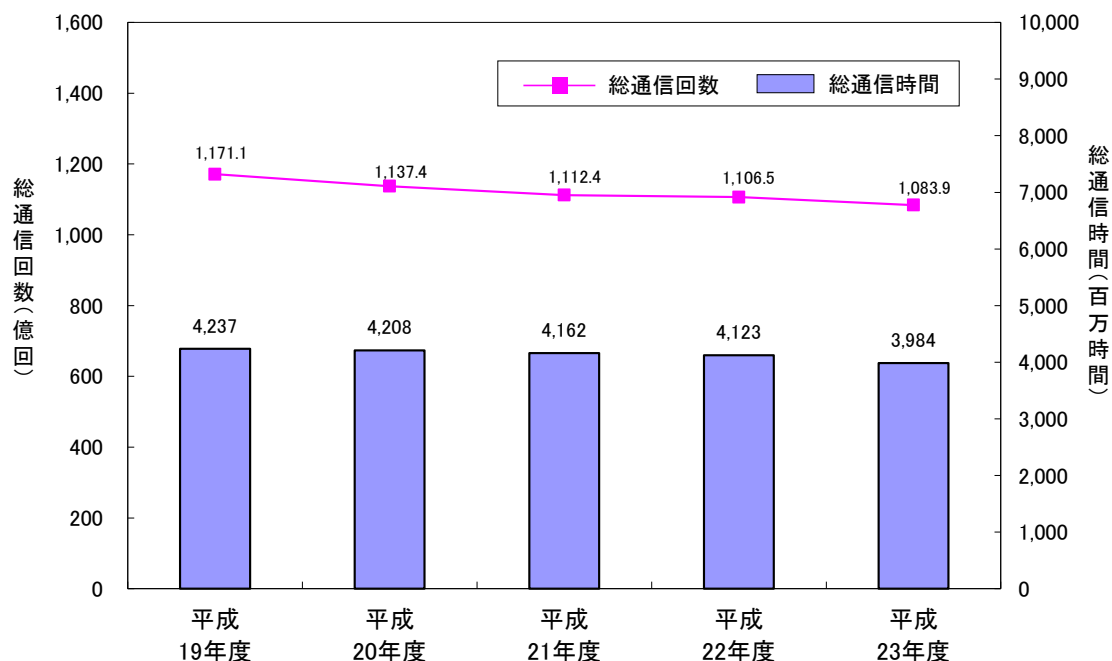


(単位: 万契約(固定系・移動系)/万件(IP電話))

	平成 19年度末	平成 20年度末	平成 21年度末	平成 22年度末	平成 23年度末
固定系・合計 (対前年度比増減率)	5,123 (▲7.1%)	4,732 (▲7.6%)	4,334 (▲8.4%)	3,957 (▲8.7%)	3,595 (▲9.1%)
加入電話 (対前年度比増減率)	4,478 (▲7.0%)	4,139 (▲7.6%)	3,792 (▲8.4%)	3,454 (▲8.9%)	3,132 (▲9.3%)
ISDN (対前年度比増減率)	645 (▲7.8%)	593 (▲8.1%)	542 (▲8.6%)	503 (▲7.2%)	463 (▲7.8%)
IP電話・利用番号数 (対前年度比増減率)	1,754 (21.1%)	2,022 (15.3%)	2,317 (14.6%)	2,580 (11.3%)	2,848 (10.4%)
移動系・合計 (対前年度比増減率)	10,734 (5.5%)	11,205 (4.4%)	11,630 (3.8%)	12,329 (6.0%)	13,276 (7.7%)
携帯電話 (対前年度比増減率)	10,272 (6.2%)	10,749 (4.6%)	11,218 (4.4%)	11,954 (6.6%)	12,820 (7.3%)
PHS (対前年度比増減率)	461 (▲7.3%)	456 (▲1.1%)	411 (▲9.9%)	375 (▲8.8%)	456 (21.4%)

3 国内通信の推移

- ① 平成 23 年度の総通信回数は、1,083.9 億回で対前年度比 2.0%減少。
 ② 平成 23 年度の総通信時間は、3,984 百万時間で対前年度比 3.4%減少。



	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
総通信回数(億回) (対前年度比増減率)	1,171.1 (▲2.3%)	1,137.4 (▲2.9%)	1,112.4 (▲2.2%)	1,106.5 (▲0.5%)	1,083.9 (▲2.0%)
総通信時間(百万時間) (対前年度比増減率)	4,237 (▲2.1%)	4,208 (▲0.7%)	4,162 (▲1.1%)	4,123 (▲0.9%)	3,984 (▲3.4%)

【1 契約 1 日当たりの通信回数と通信時間】

発信	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
加入電話	1.8 回	1.7 回	1.7 回	1.6 回	1.6 回
	4 分 15 秒	3 分 58 秒	3 分 46 秒	3 分 39 秒	3 分 32 秒
	[2 分 23 秒]	[2 分 20 秒]	[2 分 17 秒]	[2 分 15 秒]	[2 分 10 秒]
ISDN	9.7 回	9.3 回	9.2 回	8.8 回	8.7 回
	15 分 4 秒	14 分 19 秒	13 分 53 秒	13 分 14 秒	12 分 57 秒
	[1 分 33 秒]	[1 分 32 秒]	[1 分 31 秒]	[1 分 30 秒]	[1 分 29 秒]
IP 電話	1.2 回	1.2 回	1.3 回	1.3 回	1.2 回
	3 分 35 秒	3 分 26 秒	3 分 20 秒	3 分 11 秒	2 分 58 秒
	[2 分 53 秒]	[2 分 45 秒]	[2 分 39 秒]	[2 分 32 秒]	[2 分 25 秒]
携帯電話	1.5 回	1.4 回	1.4 回	1.4 回	1.3 回
	3 分 7 秒	3 分 16 秒	3 分 18 秒	3 分 17 秒	3 分 1 秒
	[2 分 8 秒]	[2 分 16 秒]	[2 分 20 秒]	[2 分 20 秒]	[2 分 18 秒]
PHS	1.0 回	0.9 回	0.9 回	0.9 回	1.3 回
	5 分 15 秒	4 分 57 秒	4 分 44 秒	4 分 18 秒	5 分 7 秒
	[5 分 3 秒]	[5 分 21 秒]	[5 分 24 秒]	[4 分 55 秒]	[3 分 58 秒]

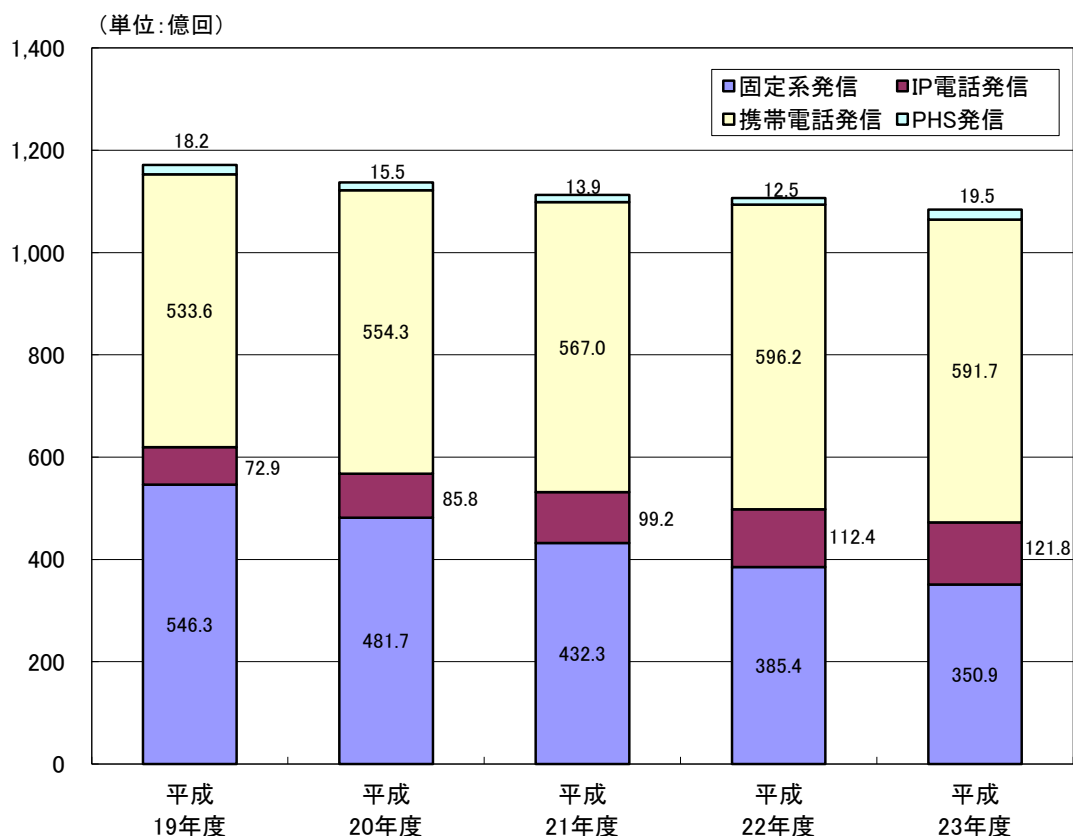
(注) 1 上段は 1 日当たりの通信回数、中段は 1 日当たりの通信時間、下段の [] は 1 通信当たりの平均通信時間。

2 IP 電話については利用番号数を契約数とみなした。

3 算出に当たり、契約数は当該年度の平均値とした。

4 国内通信の通信回数

- ① 国内通信の通信回数を発信種類別にみると、固定系発信は 350.9 億回で対前年度比 8.9%減少、IP 電話発信は 121.8 億回で対前年度比 8.4%増加、携帯電話発信は 591.7 億回で対前年度比 0.7%減少、PHS 発信は 19.5 億回で対前年度比 55.5%増加。
- ② 通信回数の発信種類別比率は、固定系発信が 32.4%、IP 電話発信が 11.2%、移動系発信が 56.4%で、固定系が占める割合が低下し、IP 電話及び移動系が占める割合が増加。

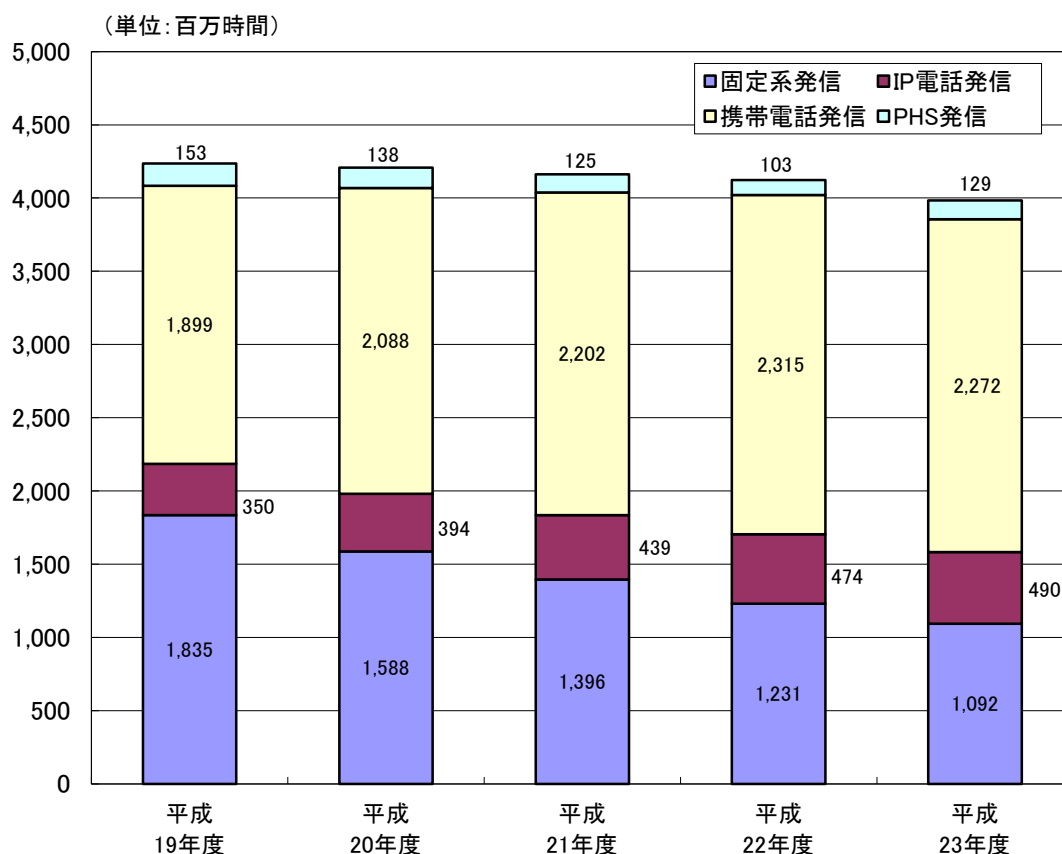


(単位:億回)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
総通信回数 (対前年度比増減率)	1,171.1 (▲2.3%)	1,137.4 (▲2.9%)	1,112.4 (▲2.2%)	1,106.5 (▲0.5%)	1,083.9 (▲2.0%)
固定系発信 <全体比> (対前年度比増減率)	546.3 <46.7%> (▲8.4%)	481.7 <42.4%> (▲11.8%)	432.3 <38.9%> (▲10.3%)	385.4 <34.8%> (▲10.9%)	350.9 <32.4%> (▲8.9%)
IP電話発信 <全体比> (対前年度比増減率)	72.9 <6.2%> (25.7%)	85.8 <7.5%> (17.7%)	99.2 <8.9%> (15.6%)	112.4 <10.2%> (13.3%)	121.8 <11.2%> (8.4%)
携帯電話発信 <全体比> (対前年度比増減率)	533.6 <45.6%> (1.4%)	554.3 <48.7%> (3.9%)	567.0 <51.0%> (2.3%)	596.2 <53.9%> (5.1%)	591.7 <54.6%> (▲0.7%)
PHS発信 <全体比> (対前年度比増減率)	18.2 <1.6%> (▲3.7%)	15.5 <1.4%> (▲14.9%)	13.9 <1.2%> (▲10.5%)	12.5 <1.1%> (▲9.6%)	19.5 <1.8%> (55.5%)

5 国内通信の通信時間

- ① 国内通信の通信時間を発信種類別にみると、固定系発信は 1,092 百万時間で対前年度比 11.3%減少、IP 電話発信は 490 百万時間で対前年度比 3.4%増加、携帯電話発信は 2,272 百万時間で対前年度比 1.8%減少、PHS 発信は 129 百万時間で対前年度比 25.6%増加。
- ② 通信時間の発信種類別比率は、固定系発信が 27.4%、IP 電話発信が 12.3%、移動系発信が 60.3%で、通信時間についても、通信回数同様、固定系が占める割合が低下し、IP 電話及び移動系が占める割合が増加。



(単位:百万時間)

区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
総通信時間 (対前年度比増減率)	4,237 (▲2.1%)	4,208 (▲0.7%)	4,162 (▲1.1%)	4,123 (▲0.9%)	3,984 (▲3.4%)
固定系発信 <全体比> (対前年度比増減率)	1,835 <43.3%> (▲11.0%)	1,588 <37.7%> (▲13.5%)	1,396 <33.5%> (▲12.1%)	1,231 <29.9%> (▲11.8%)	1,092 <27.4%> (▲11.3%)
IP電話発信 <全体比> (対前年度比増減率)	350 <8.3%> (17.8%)	394 <9.4%> (12.5%)	439 <10.5%> (11.5%)	474 <11.5%> (8.1%)	490 <12.3%> (3.4%)
携帯電話発信 <全体比> (対前年度比増減率)	1,899 <44.8%> (4.5%)	2,088 <49.6%> (10.0%)	2,202 <52.9%> (5.5%)	2,315 <56.2%> (5.1%)	2,272 <57.0%> (▲1.8%)
PHS発信 <全体比> (対前年度比増減率)	153 <3.6%> (1.5%)	138 <3.3%> (▲9.9%)	125 <3.0%> (▲9.6%)	103 <2.5%> (▲17.7%)	129 <3.2%> (25.6%)

6 国内通信の相互通信状況

- ① 国内通信の相互通信状況を通信回数で見ると、固定系発固定系端末着の割合は27.7%、IP電話発IP電話着の割合は0.9%、移動系発移動系着の割合は45.2%。
 ② 国内通信の相互通信状況を通信時間でみると、固定系発固定系端末着の割合は23.8%、IP電話発IP電話着の割合は1.3%、移動系発移動系着の割合は51.8%。

【相互通信状況（通信回数）】

(単位：億回)

着信		固定系端末	IP電話	携帯電話	PHS	合計
発信	加入電話	166.8 (15.4%)	3.5 (0.3%)	45.9 (4.2%)	1.1 (0.1%)	350.9 (32.4%)
	公衆電話	2.0 (0.2%)				
	ISDN	131.5 (12.1%)				
IP電話		91.3 (8.4%)	10.0 (0.9%)	20.3 (1.9%)	0.3 (0.0%)	121.8 (11.2%)
移動系	携帯電話	81.0 (7.5%)	37.0 (3.4%)	469.5 (43.3%)	4.2 (0.4%)	591.7 (54.6%)
	PHS	3.6 (0.3%)	0.1 (0.0%)	7.5 (0.7%)	8.3 (0.8%)	19.5 (1.8%)
合計		476.2 (43.9%)	50.6 (4.7%)	543.3 (50.1%)	13.9 (1.3%)	1,083.9 (100.0%)

(注) 1 着信欄の「固定系端末」には、加入電話、ISDNのほか、無線呼出しを含む。

2 着信欄の「IP電話」、「携帯電話」及び「PHS」では、システム上発信側が加入電話、公衆電話、ISDNのいずれであるか識別できない。

3 上段は通信回数、下段()内は相互通信合計に占めるシェア。

【相互通信状況（通信時間）】

(単位：百万時間)

着信		固定系端末	IP電話	携帯電話	PHS	合計
発信	加入電話	613 (15.4%)	17 (0.4%)	127 (3.2%)	0 (0.0%)	1,092 (27.4%)
	公衆電話	4 (0.1%)				
	ISDN	330 (8.3%)				
IP電話		377 (9.5%)	51 (1.3%)	61 (1.5%)	1 (0.0%)	490 (12.3%)
移動系	携帯電話	231 (5.8%)	99 (2.5%)	1,932 (48.5%)	11 (0.3%)	2,272 (57.0%)
	PHS	10 (0.2%)	0 (0.0%)	35 (0.9%)	84 (2.1%)	129 (3.2%)
合計		1,565 (39.3%)	167 (4.2%)	2,155 (54.1%)	96 (2.4%)	3,984 (100.0%)

(注) 1 着信欄の「固定系端末」には、加入電話、ISDNのほか、無線呼出しを含む。

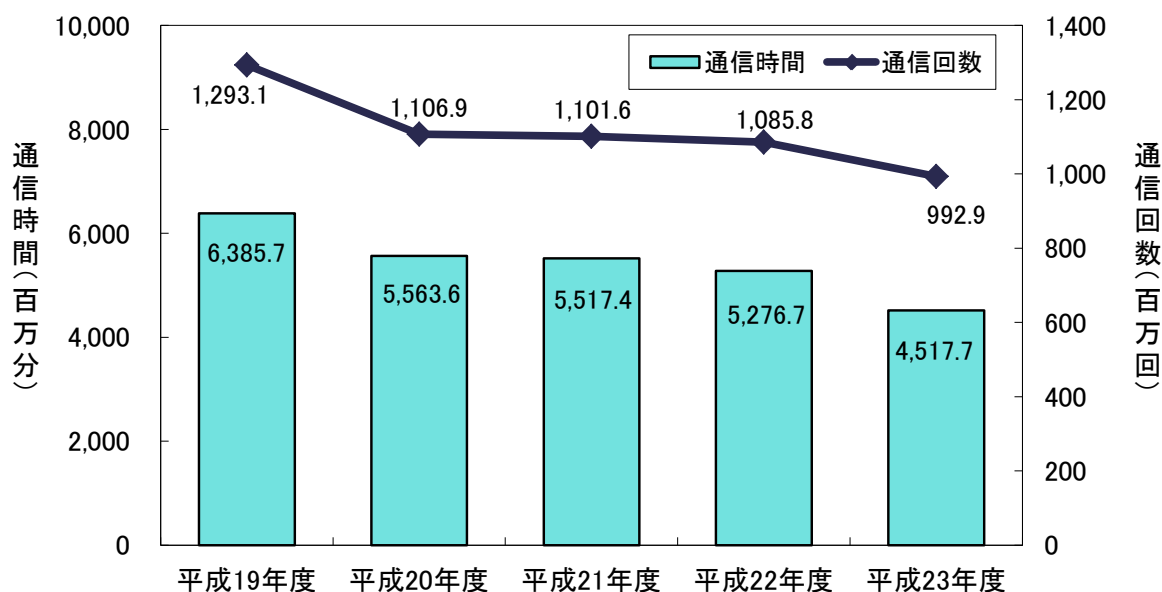
2 着信欄の「IP電話」、「携帯電話」及び「PHS」では、システム上発信側が加入電話、公衆電話、ISDNのいずれであるか識別ができない。

3 上段は通信時間、下段()内は相互通信合計に占めるシェア。

7 国際電話の推移

- ① 平成23年度の通信回数は、発着信合計で992.9百万回、対前年度比8.6%減。また、通信時間は、発着信合計で4,517.7百万分、対前年度比14.4%減。
- ② 平成23年度の1通信回数当たりの平均通信時間は、前年度より19秒減少し、4分33秒。
- ③ 平成23年度の発信回数は548.8百万回、着信回数は444.2百万回。また、発信時間は2,976.1百万分、着信時間は1,541.5百万分。

【国際電話の通信回数・通信時間（発着信合計）】

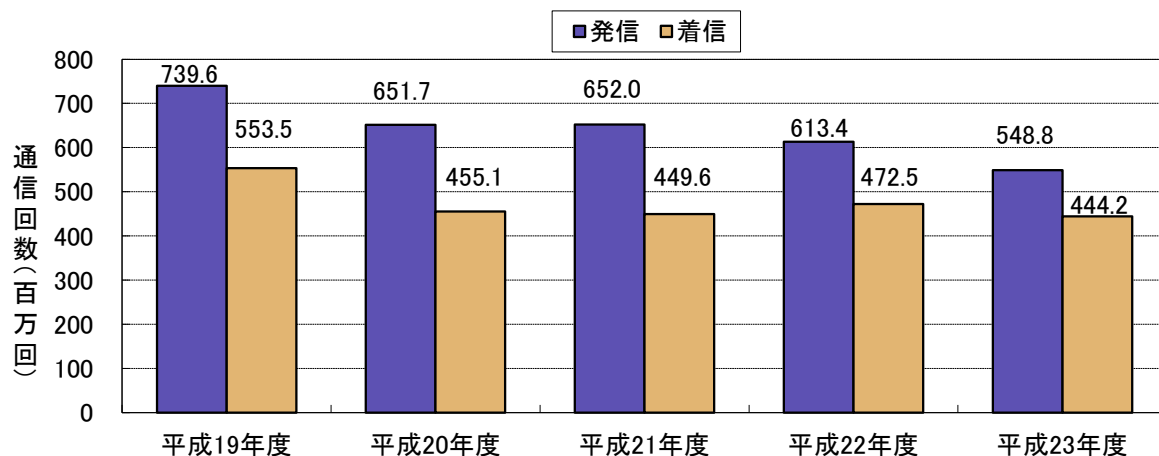


年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
通信回数(百万回)	1,293.1	1,106.9	1,101.6	1,085.8	992.9
対前年度比増減率	▲9.6%	▲14.4%	▲0.5%	▲1.4%	▲8.6%
通信時間(百万分)	6,385.7	5,563.6	5,517.4	5,276.7	4,517.7
対前年度比増減率	6.8%	▲12.9%	▲0.8%	▲4.4%	▲14.4%

【1通信回数当たりの平均通信時間】

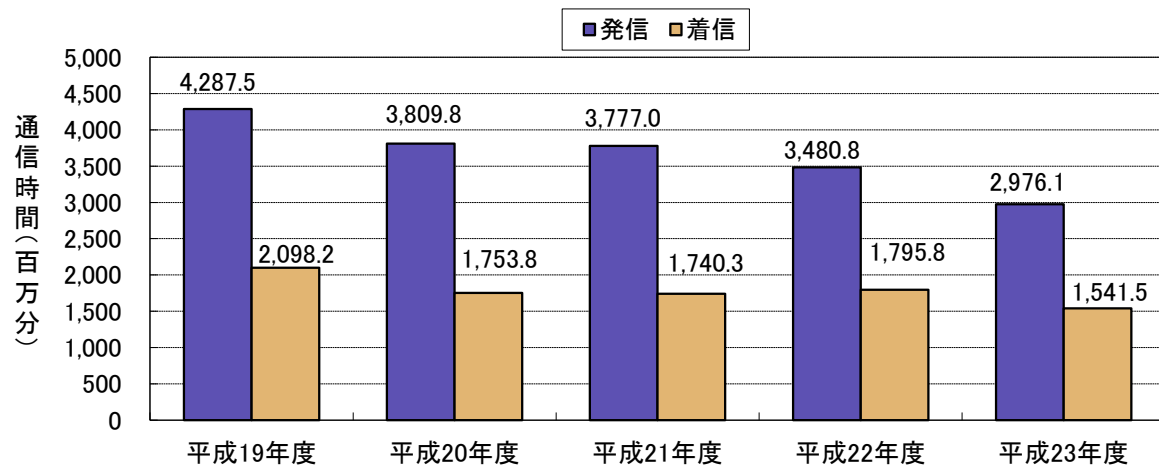
年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
通信時間	4分56秒	5分2秒	5分1秒	4分52秒	4分33秒
対前年度比増減率	45秒	6秒	▲1秒	▲9秒	▲19秒

【国際電話の発着信別通信回数の推移】



年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
発信(百万回)	739.6	651.7	652.0	613.4	548.8
対前年度比増減率	0.7%	▲11.9%	0.0%	▲5.9%	▲10.5%
着信(百万回)	553.5	455.1	449.6	472.5	444.2
対前年度比増減率	▲20.4%	▲17.8%	▲1.2%	5.1%	▲6.0%
発信:着信	57:42	59:41	59:41	56:44	55:45

【国際電話の発着信別通信時間の推移】



年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
発信(百万分)	4,287.5	3,809.8	3,777.0	3,480.8	2,976.1
対前年度比増減率	8.5%	▲11.1%	▲0.9%	▲7.8%	▲14.5%
着信(百万分)	2,098.2	1,753.8	1,740.3	1,795.8	1,541.5
対前年度比増減率	3.6%	▲16.4%	▲0.8%	3.2%	▲14.2%
発信:着信	67:33	68:32	68:32	66:34	66:34